



税と暮らしの関わり

大田区立石川台中学校 三年 志知 裕菜

私は、これまで税について興味をもったことがなく、税に種類があること、税の使い方などあまり知りませんでした。また、税は自分にまだ関係のないことで、遠い存在のものだと思っていました。しかし、以前友人とカフェに行った時、持ち帰る時の値段と店内で飲む時の値段が違うことに気がつきました。調べてみると、消費税に関連する軽減税率という制度が関係していると分かり、私も税を納める一人なのだ意識するようになりました。この経験などを通して税について学んだことにより、私は税がどのように使われているのか興味をもちました。

調べてみると、税は教育、公共事業、社会保障などに使われていることが分かりました。その中で私が興味をもったのは、国の歳出における社会保障関係費です。社会保障関係費の中には、年金給付金や医療給付金などがあります。私の祖父母も年金を受け取っていますが、それは税から賄われていると分かり、少し税を身近に感じました。また、私の母は都などでも難病指定されている病気をもっていて、区役所で毎年申請をしているので大田区から医療給付金を受けとっています。これも年金と同じように税で賄われていると分かり、税を身近に感じました。医療

給付金は、私たちにとっても身近な税金で特に関係のあるものだということが分かりました。それは、病院へ行って医療費を払わなくて良いのは医療給付金のおかげだからです。税がなければ、私たちは様々な場面でもっとたくさんのお金を払わなければいけないのだと思います。他にも、私たちが学校へ行くことができているのも税のおかげであると分かりました。また、教科書を買わなくて良いのも税があるおかげです。しかし、世界では、学校に行きたくても行くことができない子供たちもいます。もし、私が学校へ行って勉強する機会がなくなるとすると、将来どうなるのだろうかと不安になったり、想像できないくらい怖いのです。そのため、学校の施設であったり、給食、教科書などがいつもあるということを当たり前に思わないように大切にしていきたいです。

今回、税について学び、税は私たちの身近なことにもたくさん関係していることが分かりました。税は、私たちの社会を豊かにしてくれる大切なものだと思います。そして、私たち中学生も税の恩恵をたくさん受けています。そのため、次の世代の子たちも同じように学校へ行って、私たちと同じような恩恵をたくさん受けられるよう、私も大人になったら税をしっかりと納めたいと思います。